



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

# 若基小CSだより

第2号 令和5年7月6日

## ■■第2回学校運営協議会を開催しました■■

7月5日（水）に第2回目の学校運営協議会を行いました。今回は、いじめ・体罰アンケート、校内研究、地域の方による学習支援などについて話をしました。

### 【いじめ・体罰アンケートについて】

6月に実施した「いじめ・体罰アンケート」の結果を見ながら協議をしました。その結果、以下のよう  
な意見が出されました。

- ・学年が上がるほど、自分も相手も悪かったなどという状況判断ができるようになる。
  - ・ゲームでは、リセットすれば何回も生き返ることができる。祖父母の死を経験した子供も少ない。子供たちへ死について教える必要がある。
  - ・一人一人、受け止め方が違うので、話し方には気をつける必要がある。
  - ・親が気にしすぎると子供もそう思ってしまう。
  - ・不適切な教師の指導により自死につながった事例のテレビ番組があった。同じ指導でも教師と子供の間に信頼関係があるかどうかで、子供の受け止め方は変わってくる。子供になぜ叱ったのかが伝わるような声かけが大切。また、指導と共に子供へのフォローも欠いてはならない。
  - ・「悪いことをしても許される」、「話を聞かないでしかる」ということをすると不信感へとつながる。叱る場合は、子供の話をしっかり聞いた上で言い、叱るタイミングも重要である。
  - ・保護者と教師が折に触れ、話をすることで理解し合えるようになる。
- そうすることで、より子供に寄り添った指導につながっていくのではないかと。



子供たちの受け止め方は一人一人違います。共に話したり、活動したりすることで互いの理解が深まり、居心地のよい学校になるのではないのでしょうか。子供たちが穏やかな心で毎日を過ごすことができるように、まずは子供の声を受け止めることを大切にしていきたいと思います。

### 【校内研究について】



今年度の校内研究の主題は「一人一人が進んで伝え合う児童の育成～思いや考えを言葉で伝える力を育むための言語活動～」です。学習の中で、自分の考えや思いを友達に伝え合うことを頑張っていきたいと考えています。

協議の中では、次のような意見が出されました。

- ・聴く力が育つと話しやすくなるので、伝え合う力を高めるためには、聴く力の向上が欠かせない。
- ・自分の考えを持てないと表現することはできない。自分の考えを持てるような教師のサポートと時間の確保が必要である。
- ・今日の先生を見て、昨日と違うことを言うなど、毎日、5分間でもいいので気づいたことを言う時間を設けると、表現する力がついていくのではないだろうか。「自分の考えを伝えたい」、「自分の考えを聞いてほしい」、「友達の考えを知りたい」と子供が思うような授業を目指して頑張っていきたいと。